



「ロールシャッハ」

相場変動のリスクを回避すべく、最新の金融工学に基づき、極めて高度な計算式を駆使して編み出された、「損失」とは凡そ無縁の画期的な金融派生商品は、カタカナ

「だまし絵」やロールシャッハ・テストと同じ事例です。

「ロッキード裁判丸紅ルート」被告の元首相に懲役5年の論告求刑がなされた1983年1月26日、「御用提灯」を手にして目白台の田中角栄邸に向かった「市民団体」の示威運動も「ロールシャッハ」でした。「反権力」を標榜する一方で、「権力」の惹句たる「御用」を「誤用」して恥じぬ、その無自覚な自家撞着に於いて。

未熟な「考える葦」たる我々は、仮令、至らずとも心して目指すべきなのです。矜恃と諦観を併せ持った弁証法的思考を。それは傲慢「アロガント」、不寛容「イントラント」、欲深い「グリーディ」とは対極の慎み深い「ディーセントな心智」メンタリテイです。

「左巻き市民」を唾棄して集った筈の「在特会」の面々は、「国民の会」ならぬ「在日特権を許さない市民の会」を正式名称に掲げた時点で、負けています。「北斗の拳」の至言「お前はもう死んでいる」を援用するまでもなく。

他方、その彼らを声高に糾弾する「しばき隊」や「男組」の後継組織「対レイシスト行動集団」も、

その深意は「御用提灯」に通ずる「権力志向」。「しばき」なる関西一円での俗語が、鞭や棒を用いて殴る・蹴る・叩く行為と知った上で、ハムラビ法典も真つ青な「レイシストをしばき隊」なる呼称を当初、名乗ったのですから。

高市早苗、山谷えり子の両大臣も、その「ロールシャッハ」振り人は人後に落ちません。選択的夫婦別姓制度に反対する言説を繰り広げながら、前者は山本、後者は小川の結婚後の「新姓」を「公人」として一度たりとも用いぬ「潔癖性」を貫徹しています。

誤解無き様に付言すれば、僕自身は優柔不断にも「夫婦別姓」にどっちつかずな立場。が、苟も反対を高言する向きは、頭隠して尻隠さずな矛盾を恬として恥じぬ當為は「ノブレス・オブリージ」の風上にも風下にも置けないと自覚すべき。早い話が「通名」で「公人」を演じ続けているのです。公職就任前から芸名が本名と化していた故山田勇「横山ノック」氏の事例とは凡そ異なります。

更には「慰安婦」を巡って韓国・中国のみならず、オランダ、アメリカ等の欧米社会をも敵に回

す「歴史修正主義者」の視野狭窄な自虐ならぬ「自爆史観」も「ロールシャッハ」そのもの。

「23歳で3千人の総指揮官」と題し、「私は苦心して慰安所をつくってやった」と中曽根康弘翁が1978年に寄稿していた一件を再録する迄もなく、「慰安婦」問題には狭義・広義の二面性が存在するとの巧言は、島国ニッポンの「方言」でしかないのです。

国際軍事裁判で日本軍人・軍属に有罪が宣告され、日本政府に対する慰安婦問題謝罪要求決議を奇しくも7年前の安倍政権時にオランダ下院が採択した「白馬事件」。それはオランダ植民地だったインドネシアを占領した日本軍将校が数十人のオランダ女性を慰安所に強制連行し、軟禁状態で強姦した消し去れぬ史実です。

この10月、ウイレム・アレキサンダー国王が国賓として来日する直前にフランス・ティーマー・マンズ外務大臣が会見。「河野談話」への評価と共に、「強制売春そのもの。自発的な売春行為に非ず」と強調しました。「あいまいにする日本」の「うつくしくくない私」が嗚呼、問われているのです。

では「ポジティブ」な「デイリヴァティブ」。でも漢字だと「ネガティブ」な「先物取引」。

自分の気の持ちようで同じ画像が少女にも老婆にも見えてくる

★次号12月号の発行日は二月28日(第4金曜日)です。